

災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画(第3次)(R6～R10) 研究課題一覧

資料 4

科学技術・学術審議会測地学分科会
地震火山観測研究計画部会（第57回）
R6.5.21

●最も関連の深い建議項目 ○その他関連する建議項目

全課題数合計：10

※大学のみ119課

課題 数 ●	課題 数 ○	合 計	現 行 計 画 ● (※)
			●
51	5	56	62
12	1	13	1. 地震・火山現象の解明のための研究
5	0	5	(1) 史料・考古・地形・地質データ等の収集と解析・統合 ア. 史料の収集・分析とデータベース化 イ. 考古データの収集・集成と分析
1	0	1	ウ. 地形・地質データの収集・集成と文理融合による解釈
6	1	7	(2) 低頻度かつ大規模な地震・火山噴火現象の解明
3	0	3	地震
1	0	1	火山
4	1	5	(3) 地震発生過程の解明とモデル化
8	1	9	(4) 火山活動・噴火機構の解明とモデル化
24	2	26	(5) 地震発生及び火山活動を支配する場の解明とモデル化 ア. プレート境界地震と海洋プレート内部の地震
9	1	10	イ. 内陸地震
8	0	8	ウ. 火山噴火を支配するマグマ供給系・熱水系の構造の解明
4	1	5	エ. 地震発生と火山活動の相互作用の理解とモデル化
3	0	3	
26	2	28	36
9	1	10	2. 地震・火山噴火の予測のための研究
4	1	5	(1) 地震発生の新たな長期予測(重点研究) ア. プレート境界巨大地震の長期予測
5	0	5	イ. 内陸地震の長期予測
11	0	11	(2) 地震発生確率の時間更新予測 ア. 地震発生の物理モデルに基づく予測と検証
6	0	6	イ. 観測データに基づく経験的な予測と検証
5	0	5	(3) 火山の噴火発生・活動推移に関する定量的な評価と予測の試行(重点研究)
18	8	26	22
3	1	3	3. 地震・火山噴火の災害誘因予測のための研究
10	3	13	(1) 地震の災害誘因の事前評価手法の高度化 ア. 強震動の事前評価手法
3	1	4	イ. 津波の事前評価手法
1	1	2	ウ. 地震動に起因する斜面変動・地盤変状の事前評価手法
4	0	4	エ. 大地震に起因する災害リスクの事前評価手法
2	1	3	(2) 地震の災害誘因の即時予測手法の高度化(重点研究) ア. 地震動の即時予測手法
4	2	6	イ. 津波の即時予測手法
2	1	3	(3) 火山噴火による災害誘因評価手法の高度化
2	2	4	(4) 地震・火山噴火の災害誘因予測・リスク評価を防災情報につなげる研究
1	1	2	地震
1	1	2	火山
10	2	12	15
3	0	3	4. 地震・火山噴火に対する防災リテラシー向上のための研究 (1) 地震・火山噴火の災害事例による災害発生機構の解明
7	2	9	(2) 地震・火山噴火災害に関する社会的共通理解醸成のための研究
26	8	34	5. 分野横断で取り組む地震・火山噴火に関する総合的研究 (1) 南海トラフ沿いの巨大地震 ア. 首都直下地震
4	1	5	イ. 千島海溝沿いの巨大地震
1	1	2	ウ. 内陸で発生する被害地震
4	0	4	エ. 大規模火山噴火
3	1	4	(5) 大規模火山噴火
8	2	10	(6) 高リスク小規模火山噴火
6	3	9	
39	7	46	51
1	1	2	6. 観測基盤と研究推進体制の整備 (1) 観測研究基盤の開発・整備 ア. 観測基盤の整備
35	1	36	イ. 観測・解析技術の開発
10	1	11	ウ. 地震・火山現象のデータ流通
15	0	15	エ. 地震・火山現象のデータベースの構築と利活用・公開
3	0	3	(2) 推進体制の整備
7	0	7	ア. 関連研究分野との連携強化
0	1	1	イ. 国際共同研究・国際協力
2	2	4	ウ. 社会への研究成果の還元と防災教育
1	1	2	エ. 次世代を担う研究者、技術者、防災業務・防災対応に携わる人材の育成
170	32	202	186

災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画(第3次)(R6～R10) 研究課題一覧

●最も関連の深い建議項目 ○その他関連する建議項目

全課題數合計：162

※大学のみ119課題

課題 数 ●	課題 数 ○	合 計	現 行 計 画 ● (※)
			●
51	12	63	62
12	4	16	1. 地震・火山現象の解明のための研究
5	1	6	(1) 史料・考古・地形・地質データ等の収集と解析・統合 ア. 史料の収集・分析とデータベース化
1	1	2	イ. 考古データの収集・集成と分析
6	2	8	ウ. 地形・地質データの収集・集成と文理融合による解釈
3	2	5	(2) 低頻度かつ大規模な地震・火山噴火現象の解明
1	1	2	地震
2	1	3	火山
4	1	5	(3) 地震発生過程の解明とモデル化
8	1	9	(4) 火山活動・噴火機構の解明とモデル化
24	4	28	(5) 地震発生及び火山活動を支配する場の解明とモデル化 ア. プレート境界地震と海洋プレート内部の地震
9	1	10	イ. 内陸地震
4	1	5	ウ. 火山噴火を支配するマグマ供給系・熱水系の構造の解明
3	1	4	エ. 地震発生と火山活動の相互作用の理解とモデル化
26	5	31	36
9	2	11	2. 地震・火山噴火の予測のための研究
4	1	5	(1) 地震発生の新たな長期予測(重点研究) ア. プレート境界巨大地震の長期予測
5	1	6	イ. 内陸地震の長期予測
11	2	13	(2) 地震発生確率の時間更新予測 ア. 地震発生の物理モデルに基づく予測と検証
6	1	7	イ. 観測データに基づく経験的な予測と検証
5	1	6	(3) 火山の噴火発生・活動推移に関する定量的な評価と予測の試行(重点研究)
6	1	7	ア. 地震動の即時予測手法 イ. 津波の即時予測手法
18	17	35	3. 地震・火山噴火の災害誘因予測のための研究
10	7	17	(1) 地震の災害誘因の事前評価手法の高度化 ア. 強震動の事前評価手法
3	2	5	イ. 津波の事前評価手法
1	2	3	ウ. 地震動に起因する斜面変動・地盤変状の事前評価手法
4	1	5	エ. 大地震に起因する災害リスクの事前評価手法
2	2	4	(2) 地震の災害誘因の即時予測手法の高度化(重点研究) ア. 地震動の即時予測手法 イ. 津波の即時予測手法
2	2	4	(3) 火山噴火による災害誘因評価手法の高度化
2	4	6	(4) 地震・火山噴火の災害誘因予測・リスク評価を防災情報につなげる研究
1	2	3	地震
1	2	3	火山
10	3	13	4. 地震・火山噴火に対する防災リテラシー向上のための研究
3	1	4	(1) 地震・火山噴火の災害事例による災害発生機構の解明
7	2	9	(2) 地震・火山噴火災害に関する社会的共通理解醸成のための研究
26	12	38	5. 分野横断で取り組む地震・火山噴火に関する総合的研究
4	2	6	(1) 南海トラフ沿いの巨大地震 ア. 千島海溝沿いの巨大地震
1	2	3	イ. 首都直下地震
4	1	5	ウ. 内陸で発生する被害地震
3	2	5	エ. 大規模火山噴火
8	3	11	オ. 大規模火山噴火
6	2	8	(6) 高リスク小規模火山噴火
39	14	53	6. 観測基盤と研究推進体制の整備
35	3	38	(1) 観測研究基盤の開発・整備 ア. 観測基盤の整備
10	1	11	イ. 観測・解析技術の開発
15	1	16	ウ. 地震・火山現象のデータ流通
3	1	4	エ. 地震・火山現象のデータベースの構築と利活用・公開
7	0	7	(2) 推進体制の整備 ア. 関連研究分野との連携強化
0	2	2	イ. 国際共同研究・国際協力
0	2	2	ウ. 社会への研究成果の還元と防災教育
2	3	5	エ. 次世代を担う研究者、技術者、防災業務・防災対応に携わる人材の育成
170	63	233	186